

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報のタイトルにしています。<学校HP <https://isawachu.edumap.jp>>

「困っている人がいたら助けたい」生徒99%！

まなびフェストアンケート集計結果①

「令和6年度まなびフェストアンケート」へのご協力、誠にありがとうございました。

集計結果について、昨年の同時期と比較しながらまとめましたので、お知らせします。

<生徒アンケート> ※肯定的回答(「そう思う」「ややそう思う」の合計)を、全体に占める割合(%)で表しています。

設 問		昨年度	今年度	昨年比	参 考
1	いじめはどんな理由があってもいけないと思う	98.5	97.5	-1.0	県目標値 100%
2	責任をもって自分の役割を果たしている	95.7	95.7	0	
3	約束と期限を守っている	91.0	88.6	-2.4	
4	校地内外や地域であいさつを交わしている	94.0	94.4	0.5	
5	時間を守って生活している	94.7	95.3	0.6	
6	校舎に感謝し施設・用具をきれいに使っている	97.9	97.9	0	
7	命と安全を意識し、落ち着いて生活している	98.2	98.6	0.4	
8	悩みを抱え込まず相談している	78.3	80.0	+1.7	
9	部活動や校外活動等に意欲的に取り組んでいる	91.3	92.2	0.9	
10	授業のまとめを書いたり、友達に話している	85.8	83.4	-2.3	
11	自分で計画を立てて勉強している	76.3	75.5	-0.8	
12	作品作り、応募や検定等に挑戦している	68.2	64.7	-3.5	
13	時間を自分で管理するため手帳を活用している	72.8	69.8	-3.0	
14	自分の夢や目標に向けて努力している	93.2	83.0	-10.3	
15	地域の取組やボランティア活動に参加している	50.3	48.1	-2.2	
16	学校は楽しい	91.2	92.0	0.8	県目標値 87%
17	悩みを相談できる人がいる	82.4	87.1	+4.7	
18	胆沢中生であることに自信と誇りを持っている	88.6	86.7	-1.9	
19	自分にはよいところがある	79.7	78.7	-1.1	県目標値 78.5%
20	失敗を恐れなくて挑戦している	80.3	79.6	-0.7	
21	授業が分かる	85.6	88.2	+2.7	
22	規則正しい生活ができている	82.8	83.5	0.7	
23	困っている人がいたら助けたいと思う	97.3	99.1	+1.8	県目標値 積極肯定68%

困っている人を助けたいと思っている生徒はほぼ全員で、優しく、人と関わろうとする胆沢中生の良さが表れています。また、悩みを相談している、相談できる人がいる割合が上昇していることを嬉しく思います。一方で、自分の夢や目標に向けて努力するなど、将来自立するために、自分から学習などに取り組んでいくことが課題だと考えられます。

<保護者アンケート> ※肯定的回答(「そう思う」「ややそう思う」の合計)を、全体に占める割合(%)で表しています。

学校の取組		昨年度	今年度	昨年比	
1	学校や学級の教育活動に関する情報提供（校報、通信、HP、マチコミメール等）は役立っている	97.8	95.0	-2.8	
2	学校は、テストや学力調査結果を知らせている	95.5	91.8	-3.7	
3	学校は、家庭学習の課題を計画的に出している	89.1	83.1	-6.0	
4	学校は、家庭との迅速な連携に努めている	85.4	82.3	-3.1	
5	学校は、しっかりと「いじめ」に対応している	84.8	77.8	-7.0	

いじめの対応について厳しい評価をいただきました。教職員の見えないところで嫌な思いをしている生徒がいるのかもしれない。前頁のとおり「相談している」「相談できる人がいる」という生徒が増加していることを励みに、今後も生徒の話聞き、1つ1つの事案に対応してまいります。アンケートも実施していますので、情報提供をよろしくお願いいたします。

子どもの様子		昨年度	今年度	昨年比	評価指標・達成状況
6	よく本を読んでいる	44.8	38.1	-6.7	
7	家族が言わなくても自分から勉強している	64.0	67.2	3.2	70% △
8	学校に行くことを楽しみにしている	72.3	79.9	+7.6	
9	悩みを抱え込まず相談している	82.7	85.3	+2.7	
10	仲の良い友達がいる	94.7	96.0	1.3	

読書について昨年度より低くなっていますが、自宅で読んでいる様子が見えないのでしょうか。学校では読書が盛んで、1月末時点で20冊以上読んだ生徒が全校の57%と高い割合で、200冊以上読んでいる生徒もいるほどです。

お子様が「学校に行くことを楽しみにしている」と感じる割合が昨年度より大きく上昇しました。「悩みを相談している」と感じる割合も上昇していることを嬉しく思います。

家庭の役割		昨年度	今年度	昨年比	評価指標・達成状況
11	子どもの虫歯、疾病の治療に努めている	94.3	95.6	1.3	80% ◎
12	毎日、子どもにしっかりと朝食を食べさせている	93.5	94.2	0.7	(県目標値 91%)
13	平日、子どもと夕食を一緒に食べている	87.0	89.0	2.0	
14	学校からのお知らせ、おたよりに目を通して	87.6	87.5	-0.1	90% △
15	いじめはいけないと伝えている	99.0	99.2	0.2	95% ○
16	子どもが使う情報端末（スマホ、ゲーム機など）にフィルタリングをかけている	80.3	78.0	-2.3	80% △
17	情報端末のルールを決めている	82.4	82.4	0	90% ×
18	メディアに接する時間と就寝時刻を決めている	68.4	72.5	4.1	80% ×
19	近所の人への挨拶を勧めている	91.1	90.4	-0.7	
20	家庭における子どもの毎日の仕事（役割）を決めている	61.3	59.9	-1.5	60% ○
21	子どもと将来について話し合うときがある	79.2	88.4	+9.2	90% △

本校の「まなびフェスト」の評価指標を参考として示しております。

メディアや情報端末についての課題が見えてきました（問16,17,18）。情報端末のフィルタリングにつきましては、お子様の安心安全のために実施していただきたいと思います。メディアに接する時間と就寝時刻（問18）については、決めているという割合は増えていますが、「決めているが子どもが守らない」という回答が何名かありました。スマホ等の利用について、保護者の方が指導に悩んでいる様子が感じられました。

「将来について話し合う」ご家庭が大きく上昇しています。中学校は「夢を叶えるところ、夢を叶える準備をするところ」ですので、学校では、子供たちが夢を見つけ、夢に向かって行動していけるように、今後も働きかけてまいります。

※次号では、アンケートの「自由記述」について紹介いたします。